

国 語

□【解答】問一 言葉 問二 (1) 言葉を知る (2) 何かが見えてくる

問三 ② イ ③ エ

問四 (1) 言葉との出会い方 (2) 大まかに二

問五 ④ (段落) 問六 (1) 意味 (2) 言葉

【解説】問一 すぐ後の文に「語る言葉が乏しいと、その感覚そのものもいつしか消えてしまう」とあることと、②段落以降にも「言葉」がキーワードとして何度も登場することが手がかりになる。

問二 例を挙げて説明している部分と、筆者の主張の中心となる部分を読み分ける。この段落では、筆者が小説を書きながらわかったことと、虹の話をふまえたうえで、最後に「言葉を知るって、何かが見えてくることなんです」とまとめている。この一文が、筆者がこの段落で最も述べたかったことである。

問三 □②の後は、①段落の内容の具体例が書かれているので、「例えば」があてはまる。□③の前の部分では、筆者にとって「お母さん」はとても怖く、だからといって「怖い」とも「やさしい」とも書けなかったということが書かれている。このことを理由として、□③の後で「母の日の作文」を書くのを逃れていたと述べている。したがって、順接の「それで」があてはまる。

問四 (1)はことばの意味の問題。ここでのいう“道筋”とは、今まで知らなかった言葉を新しく理解するための過程を表している。――線部④直後の⑥段落に、“茶碗”という言葉を例に二つの道筋が書かれており、その後に、「言葉との出会い方」という表現で言いかえられている。またその道筋を、⑥段落の最後に、「大まかに二つに分けると、…入れていくか」と具体的にまとめられているので、(2)はそこからぬき出す。

問五 筆者が母のことを話題にしているのは、③段落と④段落。このうち、④段落に「もし『母の怖さはやさしさだ』っていう言い回しができたら（＝言葉の表現が豊かだったら）、そういう見方もできたらう（＝見え方が豊かになっただろう）」とある。

問六 ⑧段落の最初に「意味やニュアンスはわからないけれど、言葉としては知っているといるのは、器にたとえることができます」とある。

□【解答】問一 ウ 問二 (1) に思えた。(2) 三十五 (人) (3) 立たされた

問三 A ウ B エ C ア 問四 ノートに絵を書き写していた

問五 まんざらでもない顔 問六 イ

【解説】問一 修飾語の係り受けの問題。修飾語が後のどのことばに係るかは、二つのことばをつなげて読んで、最も意味が通じる組み合わせを選ぶ。

問二 (1) 場面を分けることごとしとして、時や場所のちがいに注目する。ここでは二人が立たされたのは授業中の教室内での出来事であるので、その場面がどこまで続くのかをとらえる。

(2) 授業中の教室には全員で何人いたのかをとらえる。わたしと石井くん以外の生徒は、「三十二本のえんぴつ」から三十二人であり、さらに田原先生もいる。これらの数をすべて足すとよい。

(3) ――線部②の二段落後に「わたしもひどく腹がたつた。立たされたのなんて、はじめてだったからだ」とあり、石井くんに対するいかりの他に「すねた顔」をしていた理由がわかる。

問三 A 「静まりかえった」様子を表すふさわしいことばを選ぶ。

B 他の生徒たちの様子を「ながめていた」のは「わたし」であり、最初はどうな様子でながめていたのかを読みとる。――線部②の「すねた顔をして」から、ふきげんな様子であると考えられる。

C 直後の「グラウンドに出て一回でもボールをけつたら、なんでもおすれてしまうのだ」とあることから、すぐにおすれる様子がわかる。

問四 「えんぴつが」「ノートをひつかく音」とあることから、えんぴつでノートに何かを書いているときの音を表している。他の生徒たちはこのとき何を書いているのかを読み取る。

問五 教室の後ろに立たされたのに「いい気分だった？」と聞くのは、美砂ちゃんが「わたし」のどんな様子を見たからなのかを読み取る。直後のせりふに「加奈ちゃん、まんざらでもない顔してたよ」とある。「まんざらでもない」とは、「それほどいやでもない」という意味である。

問六 直前の「わたしが事件も、石井くんのこともおすれられなくて、ついつい石井くんを観察してしまう」に着目する。選択肢のアは、石井くんそのものに腹を立てているわけではないので不適。加奈が頭にくるのは、自分だけが教室の後ろに立たされた事件をおすれられず、ついつい石井くんを観察していることに対してである。

□【解答】(1) 主語：土曜日は 述語：参観日だ
(2) 主語：ひまわりが 述語：さき出した
(3) 主語：天ぶらばかり 述語：あつた
(4) 主語：村は 述語：すずしいね
(5) 主語：× 述語：つかれた
(6) 主語：君こそ 述語：ふさわしい (各解)

【解説】 主語とは「何(だれ)が」「何(だれ)は」にあたることばだが、必ずしも「～が」「～は」の形であるとは限らないので注意が必要。「どうする・どんなだ・なんだ」にあたることばである述語から探し、主語を考えるとよい。たとえば②では、「さき出した」という述語から考えて、何がさき出したのかをとらえる。さき出したのは「今日」ではなく「ひまわり」であることがわかる。

四 【解答】 (1) オ (2) オ (3) エ (4) カ

【解説】修飾語の係り受けの問題。修飾語がどのことばを修飾するのかは、修飾語とそれが係る二つのことばをつなげて読んでみて、最も意味が通じる組み合わせを選ぶとよい。

五 【解答】 (1) こうふん (2) ころざ (す) (3) あらわ (す) (4) う (れる)
(5) 資源 (6) 宇宙 (7) 承知 (8) 郵便局

【解説】漢字はとめ、はね、はらいまで意識して、丁寧に書こう。

算 数

一 【解答】 (1) 26 (2) 24 (3) 11 (4) 18

(5) ① 1440 (度) ② 144 (度) (6) 96 (cm³) (7) 3000000 (cm³)
(8) 64 (9) 41 (10) 12 (ひき)

【解説】 (5) ① N三角形の内角の和は180×(N-2)で表されるので
180×(10-2)=1440 (度)
② 正多角形の内角の大きさは全て等しいので、
1440÷10=144 (度)

(6) 4×4×6=96 (cm²)
(7) 1m³=1m×1m×1m=100cm×100cm×100cm=1000000cm³なので、
3m³=3000000 (cm³)
(8) 1, 3, 3, 2, 1, 2を周期としたくり返しになっている。
1つの周期の数の和は、1+3+3+2+1+2=12
はじめから32番目までの数の和は、32÷6=5あまり2

よって、12×5+1+3=64

(9) 「連続する整数」は差が1なので、線分図で表すと、
1番小さい整数は、(126-1-2)÷3=41

(10) つるの足は2本、かめの足は4本なので、つるかめ算より、

(104-2×40)÷(4-2)=12 (ひき)

二 【解答】 ① 12 ② 15

【解説】

	B		合計
	正解	不正解	
A	②		21
不正解		6	
合 計	23	①	35

問題の条件を表に書き込むと、上のようになる。①は35-23=12
また、Aが正解でBが不正解の生徒は12-6=6
よって、②は21-6=15

三 【解答】 (1) 7 (本) (2) 13 (個) (3) 16 (問)

【解説】 (1) ボールペンの本数を□本、シャープペンシルの本数を△本として面積図に表すと右の図のようになる。買った12本が全てシャープペンシルだったとすると代金は、
120×12=1440 (円)

図の斜線部分の面積は
1860-1440=420 (円)

また、たての長さは180-120=60 (円)

であるから、ボールペンの本数は420÷60=7 (本)

(2) パックに入れたたまごの個数は200-2=198 (個)

25個のパックが全部10個入りだったとすると10×25=250 (個)
だから実際のたまごの個数より250-198=52 (個) 多い。
10個入りパックを6個入りパックにとりかえることにたまごの個数は

10-6=4 (個) ずつ減っていくから52÷4=13 (個)

(3) 20問すべて正解すると5×20=100 (点) だから、実際の得点より100-72=28 (点) 高い。1問正解するときと、1問まちがえるときでは、5+2=7 (点) の差があるので、まちがった問題の数が28÷7=4 (問) となり、正解数は20-4=16 (問)

四 【解答】 (1) 体積…72 (cm³) 表面積…108 (cm²)

(2) 体積…112 (cm³) 表面積…148 (cm²)

(3) 体積…594 (cm³) 表面積…456 (cm²)

【解説】 (2) 体積…4×6×5-2×2×2=112 (cm³)

表面積…横6cm、たて4cm、高さ5cmの直方体の表面積と同じであることを利用
する。(6×4+6×5+4×5)×2=148 (cm²)

(3) 体積…9×9×9-9×(9-4)×(9-6)=594 (cm³)

表面積…上下、左右の面は1辺が9cmの正方形の面積と同じであることを利用する。
{9×9+9×9+(9×9-3×5)×2=456 (cm²)

五 【解答】 (1) 13 (人以上) (2) 3 (人以上) 15 (人以下) (完答)

【解説】 (1) 両方とも好きな人が最も少ない場合、右の図のようになる。

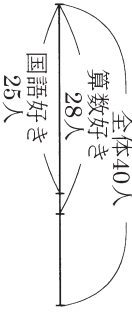
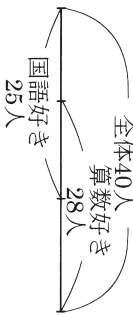
25+28-40=13 (人)

よって、13 (人以上)

(2) 算数だけ好きな人は1のとき最も多く、右の図のとき最も少ない。

その人数は40-25=15 (人) 28-25=3 (人)

よって、3 (人以上) 15 (人以下)



⑥ 【解答】 (1) 36 (個) (2) 600 (cm³) (3) 72 (cm³)

【解説】 (1) 大きい立体の各辺に3個ずつあるので、 $3\times 12=36$ (個)

(2) 立方体125個の全ての面の面積の合計は、 $125\times 6=750$ (cm²)

色のついている部分の面積は、 $5\times 5\times 6=150$ (cm²)

色のついていない面の面積は、 $750-150=600$ (cm²)

(3) (1)より、2面にしか色がついていない立方体36個の色がついていない部分の面積になるので、 $2\times 36=72$ (cm²)

理 科

① 【解答】 問1 イ 問2 エ 問3 ウ 問4 ア

問5 (1) ア (2) イ (3) オ

【解説】 問1 熱は鉄に同心円状に伝わる。

問2 熱の伝わりやすさは、銅→アルミニウム→鉄の順である。

問3 熱により金属がぼう張ちようするので、直径Aも直径Bも大きくなる。

問4 ぼう張の割合は大きいものからなると、アルミニウム→銅→鉄の順である。

問5 (1) 黒色は放射熱を吸きめうしゅう取しやすしい。

(2) 鉄が熱を吸収し、ぼう張するので、ルールとルールの間にすき間をつくって
いる。

(3) プラスチックや木は熱を伝えにくい。

② 【解答】 問1 工夫① a：キ b：エ 工夫② c：オ d：ア

問2 ア 問3 (1) イ (2) ア・エ (順不同完答)

【解説】 問1・2 百葉箱は気温などを正確に測るために、「日光を反射しやすい白色にぬる」
「直射日光や雨水が入らないようにするい戸になっている」
「地面からの熱のえいきよ
うをうけにくいように芝生の上にたてられている」
「直射日光が入らないようにと
びらが北向きにつけられている」などの工夫がされている。

問3 (1) 都市部は熱をためこみやすいコンクリートやアスファルトでおおわれている
ことで、郊外より気温が高くなる。この現象をヒートアイランド現象という。

(2) タ方から次の日の朝までの最低気温が25℃以上の夜を熱帯夜という。1日
の最高気温が25℃以上の日を夏日、30℃以上の日を真夏日という。

③ 【解答】 問1 梅雨つゆ 問2 エ 問3 (1) ア (2) ウ

問4 ア 問5 ア

【解説】 問1 6月ごろの長雨が続く時期を梅雨つゆという。梅雨に日本上空にとどまる前線はかいを梅雨
前線という。

問2 夏は小笠原気団が発達し、南東からあたたかくしめった季節風がふく。

問3 中心付近の最大風速が秒速17.8 m以上の熱帯低気圧を台風といい、中心付近に
は台風の目とよばれるあなが存在する。

問4 冬はシベリア気団が発達し、西高東低の気圧配置になり、北西の季節風がふく。

問5 日本の天気は偏西風のえいきようで西から東に変化する。

④ 【解答】 問1 ㊟ 問2 子葉 問3 ㊿ 問4 (図) 4

問5 A ア B イ 問6 ウ・オ (順不同完答)

【解説】 問1 カキの種子は、発芽に必要な養分を㊟のはい乳にたくわえている。

問2 イソグゼンメの種子は、発芽に必要な養分を㊿の子葉にたくわえている。

問3 カキの種子の子葉は㊿である。

問4・5 種子にふくまれるデンプンが最も多い種子がイネ (図4) である。また、最
も少ない種子がゴマ (図5) と考えられる。ゴマの種子はしばうを多くふくむので、
Bはしばうである。よって、ダイズ (図3) の種子に多くふくまれるAは、たんばく
質である。

問6 しばうを多くふくむゴマ、アブラナ、ヒマワリなどは、種子をしばうて油をとる
ことができる。

⑤ 【解答】 問1 ふつとう石 問2 ウ 問3 湯気 問4 イ

問5 じよう発

【解説】 問1 水が急に沸ちきたつのを防ぐために、ふつとう石を入れておく。

問2 水じよう気などの気体は目には見えない。

問3・4 湯気は水のつぶが集まって白く見える。

問5 湯気がじよう発して水じよう気 (気体) になったので、見えない。

社 会

① 【解答】 問1 A ウ B オ C エ D イ E ア 問2 イ

問3 エ 問4 フイリピン 問5 A 輸入 B 高齢

【解説】 問2 イのふじはりんごの品種である。

問3 日本では、パイナップルの収かく量のほぼ100%を沖縄県が占めている。

問4 バナナやパイナップルはフイリピンから最も多く輸入している。

問5 農家の高齢者の負担を軽減するために、木の背を低く「おい化」させたものが品
種改良によってつくられている。

② 【解答】 問1 A ウ B イ C ア D エ E オ

問2 ウ 問3 イ 問4 輪作 問5 促成 (栽培)

問6 シラス (台地) 問7 エ

【解説】 問 1 地図中のアは北海道の十勝平野，イは千葉県・茨城県，ウは群馬県・長野県の浅間山山ろく，エは高知県の高知平野，オは鹿児島県から宮崎県南部にかけて広がるシラス台地を示している。

問 2 キヤベツ・レタス・はくさいなど高地のすずしい気候を利用して栽培される野菜のことを高原野菜という。夏のすずしい気候を利用して栽培し，夏から初秋に出荷する。

問 3 近郊農業は，大消費地の東京都に近い千葉県・埼玉県・茨城県や，大阪府・愛知県などでさかんである。

ア 農薬や化学肥料の使用をひかえた農業である。

ウ 草花・果樹・野菜・庭木などを栽培する農業である。

エ 標高の高い所で，夏のすずしい気候を利用して行う農業である。

問 4 北海道の輪作の典型的な例としては，小麦・豆類・てんさい・じゃがいもを順番につくる方法があげられる。

問 6 シラス台地は，栄養価が少なく，水はけが良すぎるという特徴があり，稲作には不向きな土壌である。そのため，畑作がさかんである。

問 7 夜に電灯がついたビニールハウスの中で栽培されたきくを電照ぎくとはよび，日照時間を調整して出荷時期をずらすことで，高値で売られている。

③ 【解答】 問 1 A キ B オ C ア D エ E イ

問 2 B 熊本県 C 静岡県 問 3 ウ 問 4 さとうきび

問 5 ア 問 6 イ 問 7 養蚕

【解説】 問 2 Bはい草で熊本県で100%収かくしている。Cは茶で静岡県で37.0%，鹿児島県で34.6%収かくしている。

問 3 大豆はブラジル，小麦はカナダが日本の輸入先の上位にきていることにも着目しておく。

問 4 さとうきびは，沖縄県 (58.0%)，鹿児島県 (42.0%) で収かくしている。

問 5 こんにやくいもは，群馬県 (94.8%) で収かくしている。

問 6 なたねは，食用油のほか，潤滑油・工業用油などにも使用されている。収かく量は，北海道 (82.1%)，青森県 (9.4%) である。アはこうぞやみつまた，ウはホツヅ，エは紅花や藍である。

問 7 養蚕は群馬県，福島県，栃木県などでさかんに行われていたが，近年はおとろえてきている。

④ 【解答】 問 1 A ウ B ア C イ

問 2 ① イ ② エ ③ オ ④ ウ ⑤ ア

問 3 酪農 問 4 エ 問 5 ウ

【解説】 問 1 牛肉の消費量は，1990年代までは順調にのびていたが，BSE (牛海面状脳症という牛の病気) が発生した2001 (平成13) 年度に一度消費が急激に落ち込み，現在は横ばい状態が続いている。

問 3 酪農は，北海道南東部の根釧台地とくにさかんである。根釧台地には，第二次世界大戦後に国がパイロットファームや，新酪農村を建設した。

問 4 他にも，神戸牛 (兵庫県) や米沢牛 (山形県) や近江牛 (滋賀県) がブランド牛としてよく知られている。

問 5 日本は牧草地が少ないので，飼料 (とうもろこしなど) の多くを輸入にたよっている。